



東九通信第 10 号発行によせて

S25 岡山 恭崇*

東九通信第 10 号の発行に際し、一言ご挨拶申し上げます。今年、九州学院創立 101 年です。

またロンドンオリンピックの話題で盛り上がった夏になりましたが、一方で、高校総体（インターハイ）や夏の高校野球（甲子園）大会時期とラップしてしまったことは、後輩の皆さんの活躍された情報が少なくて、残念でした。

さて、オリンピック開催地のロンドン、日本との時差が 9 時間あることから、メイン競技の開催が深夜になって、よく寝不足気味で仕事に行きました。

しかし、フェンシング男子、卓球・バドミントン・バレー女子や水泳・サッカー・レスリング男女、ボクシング等々たくさんの感動があり、TV で観戦された皆さんも出場した選手の頑張りに、大きな声援を送られたことでしょう。

私個人は、九州学院時代に柔道をやって、大学からバスケットを始めました。素晴らしい監督やチームメイトに恵まれて、8 年間日本代表チームでプレイすることができましたが、残念ながら、オリンピック出場はなりません。しかし、国際ゲームを通じて、多くの友人もでき他国の文化にも触れることができたことは、大きな財産です。

唯一つ残念なことは、日本が 1980 年開催のロシアオリンピックをボイコットしたことです。柔道の山下選手や多くのアスリートが掴んだ出場権を、政治的な理由から断念せざるをえない結果になり、オリンピックに向けて頑張ってきたことが報われない形で終わりました。

私見ですが、どんなかたちでも良いと思います。

若い時からスポーツに携わることは、身体や心の成長に良い影響があると考えています。



九学 OB の後輩たちと

さて、今年の 5 月に仕事で山形県庄内地方に行きましたが、同地唯一の日刊新聞『庄内日報』の情報誌が、『敬天愛人』ということを知りました。

『敬天愛人』が情報誌に採用されたのは、庄内とかかわりが深い西郷隆盛が自己修養の指針（目標）としていた言葉で、鶴岡市と酒田市の南州神社に『敬天愛人』の文字を刻んだ石碑が建立されているからだそうです。

「天を敬い、人を愛する」・・・意外なところで九州学院時代を思い出す出会いになりました。

今年は、社会人になって 34 年目です。当初は、様々なところから勧誘があり、一度は、別の道を・・・と考えたこともありましたが、柔道・バスケット・仕事を通じて、多くのみなさんに支えていただきここまで頑張ってきたと感謝しています。

これまで得た経験・体験は、今後の人生に大いに活用し東京九学会のメンバーの一人として皆さんとお付き合いさせていただきたいと存じます。

どうぞ宜しくお願い致します。

* 九州学院 — 大阪商業大学 — 住友金属
'79-'86 全日本バスケット代表チーム中心選手

「感謝」 41年の思い出

S18 緒方 徹*



一粒の麦・・・

「一粒の麦地に落ちて百倍の実を結ぶ」

この言葉は、昨年百周年を迎えたときに選ばれたキャッチフレーズで私の好きな言葉の一つです。

私の九州学院での41年間の教職員としての始まりは、昭和

45年8月敬愛寮が設立され、寮監と野球監督の仕事から始まりました。集団生活に慣れない寮の生徒、部員12名と少ない野球部、大学を卒業したばかりで私と生徒との関係はさほど年齢差もなく、卒業生ということもあり兄的存在で寝食を共に充実した日々でした。

翌年、中学校一年生45名の担任をすることになり一層時間に追われる毎日でしたが、私にとってはすべて初めての経験で、毎日が楽しく何事にも前向きに取り組みました。今でもその当時の教え子達との関わりも深く、昔の話をするのが楽しみです。

その頃私はある先輩教師から、「部活を強くしたいのなら授業とクラスの仕事を疎かにするな」と言われました。その言葉が頭から離れず、それからは野球の監督であり体育の教師でクラスを預かっているという自覚をもち、常に生徒の目線に立って情熱をもって接し、生徒の可能性を引き出す教師になろうと決心しました。それから部員も増え徐々に結果も出て4年後には甲子園に出場しました。

創立百年の歴史をみますと、初代院長遠山先生はスポーツに深い理解を示されたと聞いております。ちなみに野球部は創立と同時に誕生し、柔道部、剣道

部の活動も早かったそうです。戦後からの県総合体育大会の優勝年表をみましても優勝クラブの多さにはびっくりします。全国大会での優勝や上位入賞の生徒のほかに、海外での試合に出かける選手も多くなり、今年度のインターハイでも全国優勝した生徒2名、上位入賞者も10名以上出しており、中学校の剣道部も各大会で優勝し全国の常連校になりました。男女とも部活が強くなった要因を私なりに考えますと、学校の理解と協力はもとより、指導に当たる先生方の情熱と努力、指導力の向上が第一に上げられます。第二に生徒達が部活動や授業中においても常に真剣に取り組む姿勢が良くなったこと。第三にきちんとした挨拶ができ、隣人への思いやりや気配りのできる生徒が増えてきたことです。「スポーツは単なる体力や技術だけでなく、精神力やマナーを含めた総合力の勝負である」と言われますが、伸びる選手と伸びない選手の違いは、当たり前前のことが当たり前前にできて、謙虚で、朗らかさがあり、心を強く持って目標に挑戦できる選手にあると思います。

活躍しているのは体育部だけではなく文化部の活動も目覚ましく、特に合唱部、放送部、吹奏楽部は多くのコンクールで活躍し、中学校も英語弁論やスピーチで入賞し、共学後20年を経て学院の新たな文化活動が

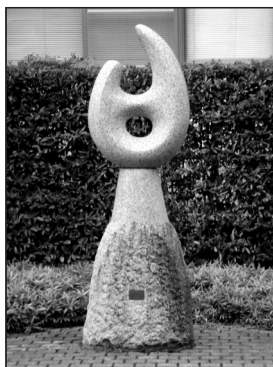


KG会にて

実を結びつつあります。

進学面でも先生方の熱意と努力でかなりの結果を出しており、文武両面での活躍こそが九州学院が目指すことだし、夢をもって邁進してほしいと思います。

学院の教育目標に「自分で自分を監督し、



学院のモニュメント その4

「生成」 CREATION

高濱英俊氏 S28 作

九州学院同窓会 参与
小崎義昭 (S4)

東京九学会

会長 連川 悠一

(S11)

役に立つ善人であれ」とありますが、私も教師生活の中でこの教えが原点にあると思っております。この41年間多くの卒業生をはじめ先生方や教え子たちに感謝の気持ちでいっぱいです。

*元教頭 教科・保健体育

「英国王室警備に出向して」

S15 東 精一

今、英国ロンドン市がマスコミ等で注目されています。春には、日本両陛下が訪英され女王陛下戴冠60年祝典に参列されました。

また、今夏、オリンピック開催、バッキンガム宮殿や競技場の様子も紹介され、各競技で熱戦が繰り広げられました。

ところで、私は8年程前まで、皇宮警察本部に奉職していました。皇宮警察は、天皇及び皇族の護衛、皇居等の警備を担当。ここで、私は、平成8年3月頃、当時、皇太子同妃両殿下の側近護衛担当でした。その時、私は、柔軟で洗練された護衛を実施していた英国王室警備部（ROYALTY PROTECTION UNIT（以下「RP」という）の護衛手法習修のため当本部から、短期の研修派遣を命ぜられました。

RPは、ロンドン警視庁に属し、英国王室及び英国を訪問する各国王室の警護並びに宮殿等施設警備を担当します。

研修場所は、バッキンガム宮殿（当時、アン女王御夫妻もお住い）、セント・ジェームス宮殿（当時、皇太子殿下お住居。ダイアナ妃とは別居中）、ウインザー城、グロスターシャー州にある別邸ハイグローブハウス等でした。護衛対象は、エリザベス女王、チャールズ皇太子殿下、アン女王等です。研修は、王族の方々を目の当たりにしてRP後衛車随衛、お出まし先に先着



ウインザー城で

して護衛、また、バッキンガム宮殿等近衛兵の捧銃する門を出入、RP側衛官とともに、交流しながらの警衛状況の研修視察というものでした。

就中、女王陛下については、ヒースロー空港御着からウインザー城まで後衛車随衛。同城のフラグモア

門から入門、内玄関（ジョージ4世門）にお送りしました。中世風ラウンドタワー、城壁聳える城を背景に広大な芝生中の一本道がどこまでもつづいていたのが思い出されます。上の写真は、ラウンドタワー前で、皇太子ご一家担当側衛長と撮ったものです。

皇太子殿下については、セント・ジェームス宮殿におけるファッション関係レセプション随衛。側衛官に案内され宮殿に先着、玄関入って赤絨毯を踏み、階段を上ると両脇壁に多数の剣が飾られている剣の間を過ぎると玉座の間。壁に等身大の王様の絵画5、6枚程が掲額されており、その奥に荘厳な玉座が位置していました。曾て、現女王陛下の初スピーチもここで行われたと云います。

同宮殿内のレセプション会場で、側衛官の護衛手法を視察。殿下が入場され立食談笑する参加者に所々、立ち寄られお声かけされ、深く頷かれたりしながら進んでいかれます。私の指導担当側衛長トリミング警視がいるはずと探したが見当たりません。良く見ると有事に即応できる位置を占め、他の側衛官に目で合図、指示をしている・・・まさしく会場内に溶け込んで違和感がないのです。そのスマートさに敬服したものです。このスマートさの蔭には、英国制・私服警察

演芸集団 成田家笑仙一座

座長 成田家笑仙

こと 森田 茂 (S4)

〒332-0012 川口市本町3-1-15 タカラサンロジェ 1103

TEL/FAX: 048-234-8241 携帯: 090-9973-0389

演目: 大黒舞・獅子舞・笑福おどり・大江戸玉すだれ・安来節 etc



昭和化学工業株式会社

カラメル・風味シラップ・機能性調味料等製造

代表取締役社長 村上 豪 将 (S14)

〒855-0801

長崎県島原市高島一丁目369番地

電話 (0957) 62-2255

FAX (0957) 62-3416

E-mail: h.murakami@showakagaku.com

Home E-mail: g.murakami@bun.bbq.jp

総発売元 昭和商事株式会社

東京支店・神戸支店・熊本支店



官（側衛官）の王室敬愛心の深さや爆弾搜索犬による検索等の事前措置、視聴覚、実戦的教養訓練、目立たない警備配置、ハイテク装備等があったことを付言します。

また、研修最終日、同殿下が金融街シティーにあるマーケットご視察からお帰り時の後衛車中のこと：RP側衛官から、「宮殿御着後、殿下からお言葉がある」と告げられました。

御着場所で、同警視から、殿下に私の紹介あり
殿下 “It’ snice to meet you”

私 “It’ snice to meet Prince of Wales”

そして、殿下が手をさしのべられ、私と握手をして下さいました。まさに、感激の瞬間でした。

また、親切に指導してくれた側衛官のこと等が、オリンピックに因み、懐かしく思い出されます。

この貴重な体験も、母校九学で学んだ英語のおかげと母校に感謝し、母校発展と同窓生の皆様方の御活躍を祈念いたします。



皇太子殿下別邸ハイグローブハウス池前にて
側衛長と RP 側衛官とともに

お菓子の香梅

副島 隆*



お菓子の香梅 副島会長

東京九学会の皆さん九州学院を卒業されて東京で益々ご活躍の事と推察いたします。

私は、昭和 36 年九州学院を卒業しまして、昭和 40 年専修大学を卒業した後、熊本に帰りまして父の創業したお菓子の香梅に入社し、父の逝

去後社長を継ぎ現在は息子 45 歳に跡を譲りまして、会長として出社 70 歳になります。

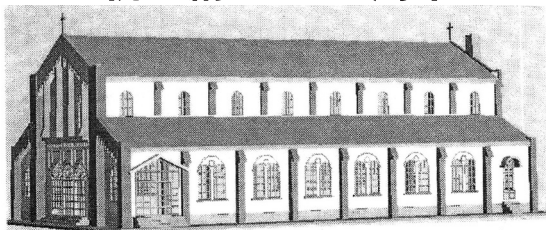
2012 年 8 月 4 日・5 日と東京都新宿区四谷区民ホールで『青柳』の公演をいたしました折、東京九学会の皆様にはチケット購入を頂きたくさんの方々にご来場観劇して頂き誠にありがとうございました。

ご覧いただきました方々はご存じですが、『青柳』は熊本五高で 3 年間英語教師として教鞭をとりました小泉八雲の「怪談」作品の一つでございます。

東京大学の名誉教授平川祐弘先生にお願いして『青柳』と云う作品を（能・日舞・演劇）の内容に仕上げて頂き新宿区長中山さんの支援のもと興行をする事が出来ました。

なぜ東京の四谷区民ホールで行ったかと申しますと、小泉八雲は熊本から上京後、新宿が終焉の地でございます。小泉八雲のあとに五高の教師になりました夏目漱石も熊本から上京後新宿が終焉の地となっております。いずれも熊本の後のご縁がこの様な公演となった次第です。

祝 創立 100 周年



旭光(有) 緒方 榮喜 (J6.S8)

寿司・季節料理・くまもと料理

あ づ ま

吉 村 勉 (S9)

〒100-0005 千代田区丸の内3-4-1 (新国際ビルB1) TEL 03-3213-2728

掲載のご依頼を受けて厚かましくも卒業後の活動を書かしていただきます事をお許しください。

お菓子の香梅は戦後創業後 63 年を迎えます。陣太鼓・武者がえし・本丸と云ったお菓子をご愛顧頂き現在まで続けて来ましたのは在熊の皆様、東京でご活躍されている皆様方のお陰でございます。

熊本では、会社の経営を息子にさせております。社長交代して数年ですから、後見役として暫くは目を離さず見守ってまいります。

仕事以外に外部では、八雲の関連で熊本アイルランド協会会長をさせて頂いております。

アイルランド人の父、ギリシャ人の母に八雲はギリシャで生まれました。幼い時、母とアイルランドに移り住みますが、両親の離婚後叔母に育てられ、イギリス・フランス・を経てアメリカに渡り、新聞記者として日本に来て松江にて英語教師の後熊本五高で 3 年教鞭をとります。紙面の都合簡略表現ですが、熊本ではたくさんの書を書いております。

『極東の将来』では、日本の将来は熊本スピリッツ、即ち、簡易・素朴・質素を持ち続ける事によると締めくくっておりますが、今の日本を見通した警鐘でもあります。

話変わりますが、数年前九州学院経済交流会なるものを立ち上げる気運がありました。鶴屋デパートの本田会長が会長に就任され、私にも副会長をするように仰せつかりました。先輩後輩の絆も大事な交流ですが、上下関係の仕組みを卒業生として作る事は私の性に合いませんので、経済交流会には、上下関係を持ちこまない事・商売に利用しない事などの約束をして九学経済交流会がなされています。

先日九州学院創立 100 周年になりましたので、経済交流会として、九学在生で特に成績良くスポーツに顕著な生徒の表彰をいたしました。この様な経済交

流活動と卒業生として社会で活躍している人の講演会など行っております。

*九州学院経済交流会副会長

九学 ベトナム

S60 本田 萌

日本ベトナム学生会議に参加してあまり遠くへ行ったことはありませんが、2 週間ほどベトナムに学生会議のため出かけていったことがあります。この学生会議では、日本とベトナムの大学生が学生生活やライフスタイル、就職について価値観をシェアすることを第一の目的としています。

学生会議での一番面白かった会議内容の「就職活動」について紹介したいと思います。日本でも毎年のように新卒採用についてのテーマがニュース番組などで取り上げられますが、日本との相違があつてとても興味深いものでした。

ベトナムでは 9 月からの新年度を前に大学生の就職戦線が続いています。ベトナムでは大学を卒業してすぐに働くという概念は日本ほどに浸透しているわけではないといえます。実際に交流したハノイ大学の学生の多くは「なぜ日本の学生は大学を卒業したらすぐに働くのか。何かに挑戦したり起業してみたりしないのか」という疑問を持っているようでした。というのも学生側も企業側も新卒であることにこだわりがないからです。学生たちは、卒業後アルバイトや派遣労働者などを経て本当に自分のしたい仕事をします。

いわゆる「自分探し」をするのです。この期間に得たスキルなども本当にしたい仕事に活かされることもあります。就職したい企業を挙げてくれた学生の他に大学卒業後の公務員はやはり人気であったが大学の専攻とは関係のない企業名を挙げる学生も多くいました。



☆おかげ様で創業65周年☆



白鷺電気工業株式会社

代表取締役 社長

沼田 吉輝 (S20)

〒861-8046 本社：熊本市東区石原1丁目11-29
TEL (096)380-7171 FAX (096)380-7140
E-mail y-numata@shirasagidenki.co.jp
本社：熊本/支社：八代・福岡・京都/営業所：人吉・鹿児島



多摩八十八ヶ所第一番札所

真言宗豊山派

安養寺

住職 島本誠永 (S30)

〒180-0002

東京都武蔵野市吉祥寺東町1-1-21

またベトナムといえば多くの日系企業の工場が進出しているイメージがありますが実際に工場に勤務するのは高校を卒業した人が多く、大卒にはあまり人気がないようでした。

ベトナムが、国として力を入れている裾野産業は、年々人件費が高騰しているといえます。つまりは中国と同じような人件費高騰による工場撤退もそう遠くはない将来起こる問題です。‘転職ありき’で就職していく若者と産業構造の転換はどのようになされていくのでしょうか。

それはこれからのベトナムの経済史が答えを出していくことでしょう。

このような、就職活動事情の違いに驚いたことは多くありましたが、ベトナムも日本も学生を取り巻いている環境はあまり変わらないということでした。

日本の学生はよく分からないうちに就職活動が解禁になって、なんとなく就職していく人をよく見かけるのに対しベトナムの学生は夢を探す時間が社会的に認められており、有意義に過ごそうとしている学生が多いとの印象を受けました。

この滞在を通して彼らのように新しいことにチャレンジする時間を大切にしたいと感じました。

九州学院ラグビー部東京 OB 会

S33 下田 克彦

去る平成平成 24 年 7 月 7 日（土曜日）九州学院ラグビー部東京 OB 会を母校岡本監督及び野口前監督をお招きし舞浜ユーラシアホテルにて行いました。

今年も多少交通の便が悪いと所で申し訳ありませんでしたが、15 名ほどの OB と 10 名程の大学の現役が集い二時間ほどでしたが、楽しい時間を過ごすことが、出来ました。

また今年は現役トップリーグラグーの立川君と中田君（共にキャノン）の 2 名も参加いただき現役学生へのアドバイス等もありの現状の状況報告もありの 2 時間程度の会でしたが有意義に過ごす事が出来ました。OB の方の中には、お孫さんと来られた方もおり楽しい時間が過ごせました。大学生の方々も新人も含め久しぶりに先生方と近況の報告を和やかにされてました。先生の方からは、今年の部の状況や進学状況等のご説明がありました。

今年は、少し志向を凝らし CD を使い現役の練習状況や試合の状況を上映しました。

最後になりますが、年々 OB の方々の参加が減ってきております。毎年 6 月下旬から 7 月上旬にて設定しておりますので今後は、奮ってご参加ください。



ラグビー部 OB 会

「中国茶」

S51 田中 壘

私が中国茶と出会うきっかけになったのは、2001 年の中国留学でした。

当初は、お茶よりも語学勉強だと思っていましたが、

東京九学会

副幹事長 高森 重視

(S32)

九學東京若手の会

KG 会

URL : <http://www.kg-kai.jp/>

九學東京若手の会 KG 会 代表 島本 誠(S30) 事務局 高森(S32)/岡本(S34)

〒168-0062 東京都杉並区方南1-8-17 株式会社オビカ内
TEL : 090-5792-0100 E-mail : s32takamori@kg-kai.jp

メール用QRコード
連絡はこちらから





ニコラス・ペタスと一緒に

半年もすると中国茶の魅力にどっぷりとはまっていました。当時は使えるお金が少なく、中国茶は高価なものだったので、食費を削り、お茶の購入代金に充てていました。また、お茶の卸売の所へ行き、ダダで試飲し、販売の方と会話をし、お茶の事について勉強もさせてもらいました。中国茶と出会ったことで、私はいろいろな方々と出会い、いろいろな経験をさせてもらいました。留学での語学能力の半分はそこで培われたといっても過言ではありません。中国茶、そして、それを取り巻く人々にとても感謝しています。

日本で中国茶がヒットするきっかけを作ったのがピンクレディーであったことを皆さんはご存知ですか。1979年（昭和54年）にピンクレディーがある歌番組で「体型維持のために烏龍茶を飲んでいる。」とウーロン茶の箱を持って発言したことで、女性週刊誌各社が一斉に取り上げ、「やせる」「健康に良い」ということで、主婦層を中心に烏龍茶ブームが巻き起こりました。

日本で烏龍茶を販売している伊藤園（1972年に中国と日本初の烏龍茶輸入代理店契約を結ぶ）は、いっそう消費を促すために1981年、缶入りの烏龍茶の販売を開始します。日本初、そして世界初の烏龍茶飲料の誕生です。同年、サントリーも缶入り烏龍茶の販売を開始しますが、サントリーは茶葉を伊藤園から仕入れて、缶入り烏龍茶を販売していました。

輸入代理店契約のためです。日本で烏龍茶の飲料が発売されてから30数年。今ではペットボトルで風味も味も昔とは比べ物にならないほど進化しています。しかし、やはり専用の茶器を使い、入れたてのお茶を飲むほうが断然おいしいと私は思います。

書籍やインターネットで探せば、「入れ方」、「飲み方」が書いてあります。今回は、私が自分で入れる時のやり方（中国茶道の方からすれば邪道かも知れませんが）をお教えしたいと思います。

まず、茶壺（急須）に茶葉を通常の3倍くらいいれます。そこにお湯を注ぎ、1回目はすぐに捨てます。次に、また急須にお湯を注ぎ、蒸らします。時間は5～10秒くらいです。すぐに茶杯（湯呑み）に注ぎます。

これだけです。特に、青茶（烏龍茶など）や黒茶（プーアル茶など）の少し香りや味の強いお茶におすすめの飲み方だと思います。この方法で耐熱容器に大量に注ぎ、そのまま少し冷ましてから、冷蔵庫に入れて冷たい中国茶を飲むのもおすすめです。自分で中国茶を飲む場合は「作法」も大事ですが、それよりも「楽しむ」ことが大事だと私は思います。楽しみながら自分の好きな飲み方を見つけるのも中国茶の面白さの一つかも知れません。

中国茶に興味をお持ちの方は、東京にたくさんお茶屋さんはありますが、「LUPICIA」さんとか、銀座の「三徳堂」さんがおすすめです。「三徳堂」さんは、「田中の知り合いで・・・」と言ってくれれば、何かしらのサービスがあるかも知れませんよ。

神奈川支部便り

幹事長 S48 清田 啓裕

『自分で自分を監督し、役に立つ善人となれ。』

私は学生時代から今なお続けている事があります。



建設業許可 神奈川県知事許可(般16)第50909号

株式会社 **タイセイビルド**

取締役会長 **齊藤 征一郎 (S12)**

土木・建築・リフォーム・店舗・設計施工・建物総合保守管理
冷暖房・冷蔵庫・厨房設備・設計施工・メンテナンス

〒233-0016 横浜市港南区下永谷5丁目71番12号
電話 **045-823-8644** (代) FAX 045-826-2197
E-Mail: taiseibirudo@if-n.ne.jp
携帯電話 090-3223-0330

九州学院同窓会神奈川支部

支部長 **荒木 傑 (S14)**

Masaru Araki

勤務先 株式会社K-corporation 営業部長
高精度赤外線検査

〒136-0071 東京都江東区亀戸2-33-5

TEL: 03-5858-9573 携帯: 090-8223-5868

〒194-0212 東京都町田市小山町2489-13

TEL: 042-798-1640

E-mail: araki5jp@ybb.ne.jp

自宅

それは『野球』です。

在学中は緒方徹監督率いる野球部に所属し、甲子園を目指し、毎日毎日土にまみれて、白球と西陽を追いかけていました。



卒業以来 18 年使用中

最近の九州学院野球部は、好成績を残し続け、その名は全国区となりましたね。

今年の夏の選手権予選は惜しくも準決勝で敗れましたが、素晴らしい戦いに感動しました。

九州学院を卒業して 17 年、現在私は少年野球の監督として毎週末グラウンドに立ち、九州学院で学んだ礎を胸に指導しています。

その礎とは、在学当時の野球部専用グラウンドの一塁ベンチに張ってあった 3 つの言葉です。

- ① 声を出せ!
- ② 前に出ろ!
- ③ 正面で捕れ!

「ハキハキと声を出して挨拶し、積極的に物事に取り組み、相手の気持ちを正面で受け止める。」

私なりの解釈ですが、野球を通じて子供達に伝えています。

IT 業界の発展に伴い、コミュニケーション能力が欠如していると言われている昨今。社会人となる未来の大人達の礎を今しっかり築いて、世の役に立つ善人の育成に貢献出来れば幸いです。もちろん、『教うるは学ぶの半ば』という諺があるように、まだまだ私自身がしっかり学び、そして気付き、子供達と正面から向き合って行かなければと心新たにしているところです。

最後に、ここ数年九学 OB、OG の方々と接する機会が増え、いつも感じていることがあります。



息子と二人で 1 枚

それは『人の温かさ』です!

熊本を離れても、「東京に熊本がある」…そんな風にいつも癒されています。

ぜひこれからも多くの OB、OG の方々と一緒に和ませていただければ幸いです。

編集後記

熊本の大雨、ロンドン・オリンピック・・・心配も興奮もあった暑い夏が過ぎ、はや、11月11日の総会・懇親会が近づいて来ました。

本通信は、第 10 号となり、今号も、母校、東京、熊本、更に広い年代からの出稿、広告掲載の協力を頂きました。厚く御礼申し上げます。

写真は 7 月 1 日 KG 会屋形舟東京湾クルーズ。現役大学生の参加も多く、東京九学会は母校とともに新世紀を迎えます。

S6 尾上 賢、S30 高木 宏一、S32 本郷 久



KG 会屋形舟東京湾クルーズ

翻訳

竹熊 誠 (S15)

TAKEKUMA, Makoto

〒860-0845 熊本市上通町4-10 とらやビル 402号

TEL・FAX (096) 354-9575

E-mail: mtakekuma@ss.em-net.ne.jp



株式会社 オピカ

岡本 明 (S34)